



名称	紺紙金泥法華經加開結
よみがな	こんしこんでいほけきょうかかいけつ
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	典籍
所在地	本町
所有者	妙正寺
員数	10 巻
指定年月日	昭和 38 年(1963)12 月 17 日
構造形式	卷子 紙本著色
法量	29. 0cm×1006. 1cm
時代	江戸時代 17 世紀
公開状況	特別公開時のみ閲覧可
交通案内	JR三原駅から北西へ約 500m

【解 説】

日蓮宗所依の經典で、^{みょうほうれん げ きょう}妙法蓮華經 8 巻(第 1～第 8)と^{かいきょう むりょう ぎ きょう}その開經の無量義經 1 巻、^{けつきょう}結經の^{みょうけん じ}仏説觀普賢經 1 巻、合わせて 10 巻のいわゆる法華三部經です。

京都^{みょうけん じ}妙顯寺 13 世^{にちによ}日饒上人(正保元年[1644]没)の筆になる紺紙金泥の写經で、日饒上人の花押があります。見返しの釈尊說法図は彩色の金泥密画です。

この法華經は、三原城主浅野氏の菩提寺妙正寺の移築にあたり、享保 12 年(1727)本山妙顯寺から贈られたものです。